

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業

～2019年7月～10月進捗状況～

SDGs、ESD の理解促進を目的に、先進的に取り組んでいる団体の活動紹介等のセミナーを開催し、ESD 地域リーダーの活動の場（ESD プラットホーム）を広げることを目的に、2019年度は公開セミナーを2回開催します。第1回開催の様子は以下にご報告します。

第1回公開セミナー SDGs,ESD 理解促進

- 日時：2019年7月6日（土）13：30～15：30
- 会場：千葉県教育会館本館2階201室
- 参加者：24名
- 主催：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば



◆講演「持続可能な地域づくりのために～SDGs・ESD パートナーシップの関係性～」

講師：江口健介氏 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）

内容：「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中の、前文・宣言の後に、17の目標と169のターゲットで構成されたSDGsとして位置付けられている。このアジェンダは、地球、人間および繁栄のための行動計画であり、貧困を撲滅することが最大の課題である。将来世代を含め『だれ一人取り残さない』の実現には小手先ではなく根本的な「変革」が必要で、個々のターゲットの達成を目指すのではなく、経済・社会・環境の3つを調和させて、トータルとして達成を目指すことが重要。

ESD は、持続可能社会づくりに取り組む担い手を育む教育で、そのため、環境、平和や人権等のESDの対象となる様々な課題への取組をベースにしつつ、環境、経済、社会、文化の各側面から学際的かつ総合的に取り組むことが重要。

パートナーシップは、地域のさまざまな専門性を持った人たちが一緒になって、必要な役割・利用可能な資源を動員し、持続可能な地域の実現をめざすこと。「我々は地球を救う機会を持つ最後の世代になるかもしれない」という言葉のように、重要なことは前文にある。

◆活動事例紹介：「私から!はじめる・つながる・エコシティかわさきへ！」

講師：竹井斎氏 認定 NPO 法人アクト川崎 理事長へ!

内容：川崎市における温暖化防止活動推進のため、リーダー育成講座で地域活動の計画立案や活動実施のサポート等多彩な活動をしている。活動内容として、・推進員プロジェクト（テーマ型）・市内のイベント出展・市民団体・自治会への環境学習会・子どもエコちゃんずクラブ・小学校での出前授業等があり、構想として環境教育・環境学習プラットフォームがあるのも興味深いと思えた。川崎市も2019年に「SDGs未来都市」となったが、それまでの活動から得た『活動は一人ではできない』を基本にさらに進めていきたい。

以上ですが、今後の活動に参考にしていきたいと思えます。

SDGsを進めるESDプラットフォームづくり

2018年度（1年目事業）の協議の結果を踏まえ、プラットフォームを作るために必要なもの・ことについて協議を3回実施します。会議出席者は、昨年度のプラットフォームづくり参加者、昨年度ESD地域リーダー育成事業参加者、2019年度ESD人材育成事業参加者などです。

第1回 SDGsを進めるESDプラットフォームづくり

- 日時 :2019年7月6日（土）15：10～16：30
- 会場 :千葉県教育会館本館2階201室 ■参加者：24名
- プログラム

①「SDの重要性とプラットフォーム」

ファシリテーター 石井雅章氏 神田外語大学言語メディア教育センター長准教授

② 参加者自己紹介

③ 趣旨説明

内容：①は、前段の公開セミナー講演内容を参考に、講師への質問などを通して本事業へつなぐことを目的にしました。特にNPO法人アクト川崎の活動の予算規模、予算の捻出、活動拠点等運営について、参加者からの熱心な質問が展開されました。千葉県内で展開するための参考になりました。

②では、環境、街づくり、国際交流など多様な活動をしている参加者の姿が見えました。

③では、昨年度の活動報告と今年度は、会議の位置づけとして、ESD地域リーダーが活動するためのプラットフォームづくりについて協議する場としてのご理解をお願いしました。

第2回 SDGsを進めるESDプラットフォームづくり

- 開催日時:2019年10月7日（月）13：30～16：30
- 会場:千葉市市民会館 第1会議室 第2会議室
- 参加者：20名 ■ファシリテーター 石井雅章氏
神田外語大学言語メディア教育センター長・准教授

■プログラム

① ESDプラットフォームづくりワークショップⅠ

- ・2018年度、2019年度第1回活動の共有
- ・ESDプラットフォームについての提案（事務局）

②ワークショップⅡ

グループワークⅠ（プラットフォームの・目的 ・条件 ・昨日 ・運営）4グループ

グループワークⅡ・（目的）何のためのプラットフォーム ・（条件）プラットフォームには何が必要 ・（機能）何をやるプラットフォーム ・（運営）プラットフォームをどのように動かす

③全体ワーク

内容：4グループに分かれ、各テーマについて意見を出し合い、さらに他のグループに参加して、参加したグループに意見を出し、お土産を基のグループに持ち帰り、さらに協議しました。2回目のグループワークでは、①で出た意見を基に、各テーマは何のためなのかについて、的整理して、発表し全員で共有しました。

※次回は2月3日、ESD地域リーダー育成事業でのプログラム発表を聞き、プラットフォームづくりへの2019年度のまとめを行います。

ESD 地域リーダー育成事業

第2年次の今年度は、千葉県北部を中心に、北西部と北東部の2つのエリアに分け、それぞれ船橋*と成田で各3回ずつ講座を開設し（内容は両地区で共通）、2地区で13名の方たちが受講中です。（* 船橋市内に会場がなかったため、実際には千葉市で開催しています）

講座の内容は昨年度と同じで、ESDプログラム作りや多くの議論を通して、「ESDの視点を持つ」とはどんなことなのかについて学ぶことです。この中で、昨年度を受講生はサポーターとして参加し、「後輩たち」の良き相談相手になってくれています。

■ 第1回目の講座は、7月14日（船橋）、7月22日（成田）に開催されました。

講座を始めるにあたり、まずESD-J（特定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育の十年推進会議）共同代表理事の重政子さんに「ESD地域リーダーになりましょう」と題した基調講演をしていただきました。ESDやSDGsの概念の歴史的な流れの説明に続き、後半は実際の活動を例にとって、SDGsやESDの視点とはどんなことなのかを、分かりやすくお話しくださいました。



190714 第1回 基調講演の重政子さん



190915 第2回 船橋（千葉）会場

■ 第2回目の講座は、9月15日（船橋（千葉）：千葉市生涯学習センター）と9月30日（成田：成田商工会議所）で開催されました。受講生のみなさんが事前に提出してくださった、ご自分の活動内容を盛り込んだ「ESDの視点を入れた環境学習プログラム」を題材に、グループワークが行われました。

船橋会場には7名、成田会場には5名の受講生の参加があり、受講生同士で、また、ファシリテーター（石井雅章さん）や昨年度修了生のサポーターのみなさんからアドバイスをいただいたり、補足説明や意見交換をしながら、プログラムのブラッシュアップを行いました。

受講生は里山系、生きもの系、リサイクル系、温暖化系、国際系など、さまざまな分野で活動している方なので、提出されたプログラムも、分野、対象、手法が本当に多様なものでした。グループワークは熱心に、楽しく盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

それぞれが大変興味深いプログラムで、次回にどう仕上がっていくのか、とても楽しみです。



190930 第2回成田会場

【これからの事業のお知らせ】 ご参加お待ちしております！！

■ちばSDGsフォーラム（ちば環境再生基金助成金、環パちば主催）

日時：令和元年10/20（日）13：30～15：30

会場：幕張メッセ国際会議場 202 室

開催目的：SDGsの周知とSDGsに取り組むヒントを、見つける

講演：「SDGsを自分ごと化するための工夫」

講師：石井雅章氏 神田外語大学言語メディア教育センター長准教授

パネルディスカッション

「途上国での環境教育」 木村由佳氏 元青年海外協力隊 環境教育 ラオス

「ベイタウン・SDGs・クリエイションの活動」 遠藤美絵氏 合同会社 HANA

「いすみ市での生物多様性の主流化とSDGs」 手塚幸夫氏 房総野生生物研究所

■第2回SDGs公開セミナー

持続可能な社会を目指し、SDGsへの取り組みを活かす～SDGsを自分ごとに～

■開催日時：2019年11月16日（土）13：30～16：00

■会場：千葉市生涯学習センター 小ホール

■主催：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば

■参加募集：80名

■参加申込：メール申込 申込締切日：11月6日（水）

■参加対象：SDGsに取り組んでいる（取り組もうとしている）自治体職員・企業・学校教員
・大学生・市民団体

■開催趣旨：SDGsのアジェンダを知り、持続可能な社会を目指し活動している各主体の実例を通して、参加者が今後の活動を展開するために、SDGsの視点を活用するヒントを見つける。

■プログラム

基調講演 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダについて

講師：石井 雅章氏 神田外語大学言語メディア教育センター長・准教授

SDGsを自分事に取り組む事例紹介

・鎌倉市 SDGs未来都市計画について 鎌倉市共創計画部 比留間 彰氏

・間伐材の有効活用など企業の取り組みと地域の関り

(株)ソーケン製作所 齋藤 弘喜氏

・「市民が愛着と誇りを持って住み続けられるいすみ市に！」

移住者と地元民との活動

NPO 法人いすみライフスタイル研究所 江崎 亮氏

・SDGs達成のためのESD人材育成事業 NPO 環パちば 桑波田 和子

質疑・意見交換 コーディネーター 石井 雅章氏

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

発行：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <https://kanpachiba.com/>

お問い合わせ： e-mail：info@kanpachiba.com Tel：090-8116-4633

